

## ガス風呂釜から出火した事例 2

### 火災概要

防火構造 2 階建共同住宅の 2 階 1 室の浴室から出火し、ポリ製浴槽及び都市ガス用セミ外焚風呂釜が焼損した焼損程度「ぼや」の建物火災です。

### 原因概要

浴槽に水が入っていると思い、水位を確認せず風呂釜を点火し、空焚きになったものです。

また、風呂釜には、過熱防止装置（空焚き防止装置）が設けられていましたが、バーナーと結線されてなかったため燃焼が継続し火災に至ったものです。



浴槽の焼損状況



風呂釜の状況

### 類似火災の防止対策

枚方市、寝屋川市の風呂の空焚きによる火災は、住宅が増加に伴い昭和 40 年代の初めから増えだし昭和 55 年の 171 件をピークに、過熱防止装置（空焚き防止装置）の設置の義務化、給湯式の風呂釜の増加などにより年々減少し、平成 17 年は 2 件まで減少しましたが、ごく稀に今回のような火災が発生しています。

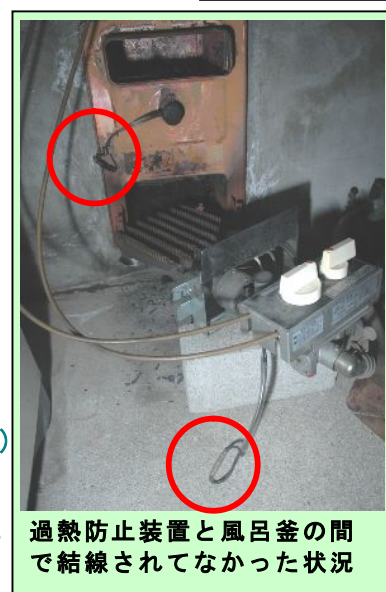
特に、セミ外焚風呂釜は外壁部分に設置するため、風呂釜が過熱すると釜に接している土台などの木部に着火し、壁体内から延焼拡大するため、火災の発見が遅れ大きな火災に進展する場合があります。

【下記の事項に注意してください!!】

- (1) 自宅の風呂釜を設置業者等に定期的に点検（法的な規制はありません）依頼し、安全装置の未結線・誤結線も併せてチェックしてもらってください。
- (2) 浴槽の水位を確認してからバーナーを点火しましょう。切り忘れにも注意してください。

【浴槽・風呂釜施工業者の方へ!!】

- (1) 過熱防止装置（空焚き防止装置）などの安全装置の取り付けを確実に施工してください。  
（枚方寝屋川消防組合火災予防条例第 3 条の 2 第 1 項第 2 号）
- (2) 浴槽の周囲の壁体は、浴槽の上部の高さまで不燃材料で施工してください。（枚方寝屋川消防組合火災予防条例第 9 条の 2）



過熱防止装置と風呂釜の間で結線されてなかった状況

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・